

平成 29 年度 浦佐地域づくり協議会の主な実施事業

南魚沼市浦佐地域のコミュニティ活性化事業は、雪国おくにじまん会館内に「浦佐地区センター」を設け、浦佐地域づくり協議会で会館管理を含め日常的な運営を行っています。

地区センターとしての役割は、①施設全体の日常的な維持管理 ②地域づくり協議会の事務及び地域活動の支援 ③各行政区の支援と連携、また協働のまちづくり事務 ④市報等行政区あて文書の配送 ⑤協議会が認める公共的団体等の活動支援と事務局事務などがあります。

(浦佐地域づくり協議会は 2008 年 4 月設立)



1 活動拠点事業（市からの委託事業で予算規模 227 万円）

浦佐地域づくり協議会の事務局は、雪国おくにじまん会館の 2 階にあって地域の活動拠点となっています。事務長他 1 名、計 2 名の事務員が常駐（8:30～17:00）しています。

- ・「雪国おくにじまん会館」（浦佐地区センター）の運営と管理を行っています。
- ・毎月 2 回、南魚沼市から発行される市報などお知らせ文書等について、各行政区へ配送します。（原則毎月 1・15 日ですが、土曜など休日の場合には前日となります）
- ・浦佐地区センターの開館時間は、年末年始及び、祝祭日を除く月曜から金曜日の 9 時から 17 時までとなっています。（会館の利用は予約により、9:00～22:00 まで利用可能）
- ・地域での困り事や地域の課題・問題、またコミュニティ活動に関する相談事について窓口を開いています。また地域課題等について、県市への窓口として「要望書」のとりまとめも行います。
- ・カラーコピー機の利用、芝刈り機、小型除雪機、テント、テーブル等の備品類の貸出も可能です。

2 地域活性化支援事業（市から浦佐地域づくり協議会が受ける交付金事業で予算規模 320 万円）

地域活性化支援事業は市から交付金を受け、地域の活性化などにつなげるため行う事業で「提案事業」と「基礎事業」からなっています。地域の特色を活かした活動、また地域の大きな課題となっている「人口減少問題」や「活性化」に向けた様々な取り組みを行っています。

○ 提案事業（事業費見込 180 万円規模）

各種共催事業や公民館浦佐分館・各種団体・環境活動への事業費補助、小規模な観光交流など新事業に向けた取り組み、ほか幾つかのプロジェクト事業を進めてきました。

○ 基礎事業（事業費見込 140 万円規模）

基礎事業は、地域で管理する道路水路の外、水路や市道などの簡便な補修工事など、地域の視点・目線から実施できる事業です。

協議会ではここ数年、街路灯・防犯灯などの LED 化を計画的に進めるほか、道路などの小さな改修工事や災害対応など、市役所と連携するなかで進めています。

3 各種プロジェクト事業（概要紹介）

○ びしゃもん通り賑わい事業

29 年度は補助金等受けることなく、予算的には協議会単独にて8月を除く5月から11月まで毎月（基本第4日曜日）浦佐「毘沙門通り」で賑わい事業（小さな祭り）を開催しました。

毎回お祭りテーマを決め、通りを“ホコテン化”し、軽トラ市も同時開催するなか、地域の手づくりによるイベントとして実施しました。



今や、すっかり定着した「小さな祭り」と芸能ステージ

5月28日	樗&山菜まつり	びしゃもん市	ストリート芸能	軽トラ市	500人
6月25日	さなぶり祭り	びしゃもん市	ストリート芸能	軽トラ市	400人
9月24日	新米祭り	びしゃもん市	ストリート芸能	軽トラ市	450人
10月22日	鮭&キノコ祭り	台風の接近により開催の中止となりました			
11月3日	菊祭り	びしゃもん市	ストリート芸能	軽トラ市	600人

4回の開催で1,950人(前年比1割減)の人出となりましたが、各回毎の人出は増加傾向にあります。必要とする事業費では、PA 機器や机・椅子など機器備品の取得もあって、最小限の経費で最大の効果を発揮できていると思います。（事業費支出194千円規模）

○ 夕涼み 生ビール&鮎まつり

7月23日（日曜） 第8回 生ビール&鮎まつり！



“夕涼み！”
浦佐の夏は「生ビールと鮎です！」

浦佐の夏の風物詩となった『夕涼み 生ビール&鮎まつり』は今回8回目の開催となって、知名度も高まり“浦佐の夏の風物詩”として、地域の一大イベントへと成長していると感じています。良質な生ビールと、じっくり炭火で焼かれた美味しい鮎、そして連続して演じられジャンルに富んだ地元芸能と、プロ歌手によるステージは大変好評でした。

今回のお祭りは終日雨模様となって、当日準備も含め人出が心配されたところですが、買い物を楽しむ人、テントにじっくり腰を据える人など、定番となったお祭りを楽しむ人・・・で埋まりました。また、年々イベント内容の充実がされるお祭りですが、開催時の雨対策の充実など今後も改善を図る必要があると思われました。

人出3,300人（事業費1,895千円）

地域情報は協議会のHPから見ることができます

浦佐地域づくり協議会 ホームページ <http://urakyou14.com>

浦佐地域づくり協議会ブログ（地域と協議会の話発信） <https://yucreate.exblog.jp/>

Eメールアドレス gi-to-ai@bloom.ocn.ne.jp

○ 八色の森健康ウォーキング（協働事業）

行政と地域が協働で行うウォーキングイベントで、奥只見レクリエーション都市公園「八色の森公園」を発着点とし、水無川・魚野川などの舗装された堤防道路を主体とするコースで、景観を楽しみながら歩きます。

里山や水辺の景観などを楽しみ、参加者との語りも楽しみの一つ、地域を知ることや、健康をテーマにしたウォーキングイベントとなっています。

9月23日（毎年秋分の日に実施）には、秋晴れとはなりませんでしたが多量の参加を得て、初秋の川原やコシヒカリの水田景観を楽しむことが出来ました。

全体人数 384 名 （事業費 251 千円）



○ 浦佐地域合同「賽の神祭り」



1月14日 浦佐駅西側、旧浦佐中学校跡地の広場をお借りし、今年9回目となる地域合同「賽の神祭り」を実施しました。今年は降雪に恵まれ、真冬には珍しく青空の下で一年の無病息災や家内安全を祈ることが出来ました。

会場には例年どおりテント3基を設営し、温かな甘酒やトン汁で参加者を迎えました。

午前9時から始まった会場設営も順調に進み、白山神社宮司による神事がしめやかに執り行われ、午前11時「賽の神」に協議会長ら5人により「点火」されました。

人出 200 人 （事業費 98 千円）

○ 「フットパスコースの整備」の取り組み

「人口減少対策」と、「小さな観光」による地域活性化の取り組みとして、今年度は「フットパスコース整備」に努めました。昨年度の「浦佐ホテルオカベ」開催された「勉強会・研修会」を受け、浦佐西山地域と五箇を結ぶ「街道の迂回路」づくりを前年に引き続き作業をすることで、一応の開通を見ることが出来ました。

その後も県外からの参加者によるモニターツアーを行い、コースの魅力などについて探ること、また「日本フットパス協会」への加盟を視野に、協会の訪問と町田市のフットパス体験をすることが出来ました。（事業費 143 千円）



（詳細は浦佐地域づくり協議会ホームページ参照）

○ その他事業の取り組み

毎年実施される地域のイベント事業にも協議会は積極的に参加しています。

- ・第 8 回南魚沼グルメマラソン 6 月 11 日(日曜)
参加者 5,099 人 スタッフ 800 人規模
- ・第 31 回山岳耐久マラソン・健康歩こう大会 9 月 3 日
参加者約 1,606 人 スタッフ 250 人規模
- ・他、南魚沼グルメライド (10/1 開催) など、スポーツイベントへ、地域活動として参加・協力をしています。



4 多面的機能支払事業

浦佐の「農振地域」を対象にした農水省・南魚沼市（農林課）の交付金事業で、「農業環境を守り育てる」ための様々な活動を行っています。

主体となる組織は「浦佐地域広域協定（会長井口章一郎）」で、五箇地区をはじめ 5 組織から成っていて、事務局は協議会事務局内にあります。

平成 29 年度の全体事業費は 17,759 千円規模となって、農地と農用施設、景観を維持するための草刈作業や道水路の保守・農道の補修作業、また子どもたちの“生き物教室”、景観事業等々、地域の農業者が主体となった活動を行っています。



浦佐地域広域協定 会長 井口章一郎 199.6ha

八色の森浦構	76.5 ha	八色の森浦構 代表 坂西浩一郎
川原町環境サポータ	14.3 ha	川原町環境サポータ 代表 井口義夫
広域協定浦佐八色	23.4 ha	浦佐八色 代表 山田勝美
広域協定鰯島	48.0 ha	鰯島 代表 黒井 靖
広域協定五箇	37.4 ha	五箇 代表 井口章一郎



5 その他事業

○ 花いっぱい運動

浦佐地域づくり協議会「環境部会」の皆さんにより、大和・魚沼地域の玄関口である浦佐駅東側地域の県道及び市道植栽柵の花壇作りに取組み、植栽区域を年々広げ天王町区域では花壇作りを大和公民館まで伸ばし、訪れる人たちを癒しています。



○ ウェブ版「料飲店マップ」の運用開始！

魚沼基幹病院の開院、大型店の出店、またメディカルタウン・IT パーク構想など具体的に動き出すなか、中心地域での人の動きが着実に多くなっていると感じます。

浦佐料飲店組合の協力を得ながら作られた「Web版料飲店マップ」は、浦佐と東地域の料飲店の様々な情報を一括して見ることができ、スマホやタブレットから簡単にお店を検索することができます。



○ 南魚沼市暮らし体験住宅の運用が始まる

浦佐毘沙門通りに、南魚沼市の「お試し居住」施設としてオープンしました。地域に“新規定住希望者”を迎え入れる施設としてまた地域の交流施設として活用が期待されます。（旧森澤邸）



○ フットパスの取り組み

農村と西山地域の里山、そして旧三国街道を舞台とする“小さな観光”地として、「フットパス foot-path」による地域活性化を目指し、旧三国街道の復旧に取り組みました。“へつり”の旧街道迂回路は危険な場所も多く、そうした道への階段の設置や草刈などの作業を実施し、昨年7月には一応の開通をすることが出来ました。



新町から山越えて町屋へ続く

旧街道の迂回路整備汗を流しました



いつもの景色が

小さな観光につながります

写真で見る地域づくり協議会の活動



料飲店マップは【浦佐地域づくり協議会】で検索！